

基本プログラム

公衆衛生総論

|        |   |
|--------|---|
| 全体目標   | 社会保障、福祉を含めた公衆衛生の歴史、基礎理論と関連施策をはじめ、行政・地域、産業・環境、医療の3分野における公衆衛生活動の現状と、専門医としての役割を理解する。 |
| 到達目標 1 | 公衆衛生活動の歴史と先人たちの思想・行動を、時代背景も含めて説明できる。  |
| 到達目標 2 | 公衆衛生全体及びその分野別の概念とその特徴について説明できる。   |
| 到達目標 3 | わが国の公衆衛生行政の基本原則や地方自治体と中央政府の行財政関係の概略を理解し、社会の変化に対応した行政のあり方を考察できる。                   |
| 到達目標 4 | 公衆衛生活動の方法論とそれを担う人材について説明できる。  |

※到達目標は、整備基準2-②-iの小項目

|   | 内容タイトル               | 講義・実習 | 対応する到達目標 | 主な内容  |
|---|----------------------|-------|----------|---|
| 1 | 歴史から見た公衆衛生行政         | 講義    | 1        | 医制、感染症対策、保健所、母子保健施策、戦後政策、公害対策、生活習慣病対策           |
| 2 | 公衆衛生の概念、行政の仕組みと法規    | 講義    | 2, 3     | 公衆衛生の定義、行政法、国、地方自治体（本庁、保健所、市町村保健センター）、地域保健法     |
| 3 | 健康政策論                | 講義    | 2, 3, 4  | 公共性、政策形成の過程、政策評価                                |
| 4 | 公衆衛生研究概論             | 講義    | 1, 2, 4  | 公衆衛生研究の特徴、研究の役割、研究能力開発、研究費確保～論文投稿の流れ、研究倫理       |
| 5 | 地域の公衆衛生課題とその解決       | 講義    | 2, 3     | ローカルな健康課題、地方自治法・国と自治体との関係と公衆衛生政策                |
| 6 | グローバルヘルス             | 講義    | 2, 3     | グローバルな健康課題、ミレニアム開発目標、持続可能な開発目標、国際機関、わが国の国際協力政策  |
| 7 | 公衆衛生活動における医師の役割と人材開発 | 講義    | 4        | 行政・産業・大学・医療における専門医の役割、プロフェッショナルリズム、キャリア開発、学会の役割 |

基本プログラム

保健医療政策

|        |   |
|--------|---|
| 全体目標   | わが国の政策立案の基礎を理解した上で、個別の保健医療施策における自分の業務を、関連法規、国および自治体での保健医療関連計画の内容と結びつけて理解する。 |
| 到達目標 1 | 根拠に基づく政策立案の基本的な考え方を理解し説明できる。  |
| 到達目標 2 | わが国の医療制度、公衆衛生行政システム、地域包括ケアシステム、産業保健制度について説明することができる。                        |
| 到達目標 3 | 公衆衛生法規を実際の政策と結びつけて説明することができる。   |
| 到達目標 4 | 健康増進計画や地域医療構想等、地方自治体における保健・医療に関する計画策定の概要を説明できる。                             |

※到達目標は、整備基準2-②-iの小項目

|   | 内容タイトル    | 講義・実習 | 対応する到達目標   | 主な内容   |
|---|-----------|-------|------------|--|
| 1 | 保健医療政策概論  | 講義    | 1          | Evidence-based Health Policy、コクランライブラリー、国際比較 |
| 2 | 社会保障制度1   | 講義    | 2, 3       | 医療制度(公的医療保険制度)、介護保険制度、地域包括ケア                 |
| 3 | 社会保障制度2   | 講義    | 2, 3       | 福祉制度、年金制度                                    |
| 4 | 保健医療政策各論1 | 講義    | 2, 3       | 母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、精神保健、歯科保健、健康づくり           |
| 5 | 保健医療政策各論2 | 講義    | 2, 3       | 感染症対策、生活習慣病対策、難病対策、介護・障害者対策                  |
| 6 | 医療改革の動向   | 講義    | 2, 3       | 医療の需給、国民医療費、医療技術評価、医療安全                      |
| 7 | 保健医療関連の計画 | 講義    | 2, 3, 4, 5 | 健康日本21、健やか親子21、医療計画、健康増進計画                   |

基本プログラム

疫学・医学統計学

|        |   |
|--------|---|
| 全体目標   | 人口や保健医療に関する統計の概要、疫学・医学統計学の基本的知識、社会調査法の基礎を身につけ、現場での業務に生かすことができる。 |
| 到達目標 1 | 公表されている人口・保健・医療統計の概要を説明できる。                                     |
| 到達目標 2 | データ解析に必要とされる基本的な統計的手法の考え方やその使い分け、各種保健統計指標の意味を説明することができる。        |
| 到達目標 3 | 社会調査法の基本を説明し、妥当性のある社会調査を企画することができる。                             |
| 到達目標 4 | 人を対象とする医学系研究のデザインについて説明できる。                                     |
| 到達目標 5 | バイアスの種類と対応方法の概要について説明できる。                                       |
| 到達目標 6 | 疫学調査結果を解釈することができる。  |
| 到達目標 7 | 公衆衛生、保健医療政策、臨床医学における疫学の重要性について説明できる。                            |

※到達目標は、整備基準2-②-iの小項目

|   | 内容タイトル        | 講義・実習 | 対応する到達目標 | 主な内容  |
|---|---------------|-------|----------|---|
| 1 | 人口・保健・医療統計の概要 | 講義    | 1, 7     | 人口動態統計、死因、平均余命、平均寿命、年齢調整死亡率、国民生活基礎調査、国民健康・栄養調査、患者調査                   |
| 2 | 基礎医学統計学1      | 講義    | 2        | 記述統計と推測統計、尺度、検定の種類(t検定、カイ2乗検定等)、p値の意味、推定(信頼区間)、相関と回帰                  |
| 3 | 基礎医学統計学2      | 演習    | 2        | 検定の使い分けの手順、図表の読み方・表し方、解析ソフトの紹介  |
| 4 | 社会調査法         | 講義・演習 | 3        | 社会調査の手順、質問紙の開発、データの扱い方  |
| 5 | 研究デザインと疫学指標   | 講義・演習 | 4, 6     | 記述疫学、生態学的研究、横断研究、コホート研究、症例対照研究、介入研究(RCT)、疫学指標(有病率、罹患率、相対危険、オッズ比、寄与危険) |
| 6 | バイアスとそのコントロール | 講義・演習 | 5, 6     | 選択バイアス、情報バイアス、交絡、マッチング、無作為割り付け、層化、多変量解析(重回帰分析、ロジスティック回帰分析の紹介)、因果関係    |
| 7 | 応用疫学・医学統計学    | 講義・演習 | 1~7      | スクリーニング、メタアナリシス、質的研究  |

基本プログラム

行動科学

|        |  |
|--------|--|
| 全体目標   | 健康に関する行動理論・モデルの基礎を身につけ、実際の保健指導・健康教育とその評価に応用することができる。 |
| 到達目標 1 | 健康に関連する行動理論・モデルの基礎について説明できる。                         |
| 到達目標 2 | 健康に関する実際の行動を行動理論・モデルを用いて説明できる。                       |
| 到達目標 3 | 行動理論・モデルを用いた問診票、保健指導プログラムや政策・事業を立案できる。               |
| 到達目標 4 | 行動理論・モデルを用いて、実際の保健指導プログラムや政策・事業の有効性を評価することができる。      |

※到達目標は、整備基準2-②-iの小項目

|   | 内容タイトル     | 講義・実習 | 対応する到達目標 | 主な内容  |
|---|------------|-------|----------|---|
| 1 | 基礎健康行動理論1  | 講義    | 1, 2     | 健康行動理論とモデルの役割、ヘルスビリーフモデル、計画的行動理論                |
| 2 | 基礎健康行動理論2  | 講義    | 1, 2     | 社会的認知理論、トランスセオレティカルモデル、自己効力感、ストレスとコーピング         |
| 3 | 基礎健康行動理論3  | 講義    | 1, 2     | ソーシャルマーケティング、ソーシャルネットワーク、ヘルスコミュニケーション           |
| 4 | ヘルスプロモーション | 講義    | 1, 2     | 概念の歴史的経緯、ポピュレーションアプローチ、プリシードプロシードモデル            |
| 5 | 健康の社会的決定要因 | 講義    | 1, 2     | 社会経済状況、ソーシャルキャピタル、ライフコース、Health in All Policies |
| 6 | 政策・事業への応用1 | 講義・演習 | 2, 3, 4  | 予防接種、がん検診                                       |
| 7 | 政策・事業への応用2 | 講義・演習 | 2, 3, 4  | たばこ対策、特定保健指導                                    |

基本プログラム

組織経営・管理

|        |   |
|--------|---|
| 全体目標   | 医療・保健組織の長となる医師の役割を理解して経営・管理能力を向上させ、組織のパフォーマンスを改善するための方法を理解する。 |
| 到達目標 1 | 医療・保健組織の長の役割・位置づけを説明できる。                                      |
| 到達目標 2 | 組織におけるリーダーシップ、マネジメント、ガバナンス及び組織間の連携の概念を関連づけて説明できる。             |
| 到達目標 3 | 経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)の調達・調整の手順、効果的・効率的な運用について説明できる。               |
| 到達目標 4 | 医療・保健組織と経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)に関わる責任体制・安全確保・リスク管理について説明できる。        |
| 到達目標 5 | 新規プロジェクトの企画やプロセスの改善について説明できる。                                 |
| 到達目標 6 | 情報・データ分析の組織経営・管理への活用について説明できる。                                |

※到達目標は、整備基準2-②-iの小項目

|   | 内容タイトル           | 講義・実習 | 対応する到達目標   | 主な内容   |
|---|------------------|-------|------------|--|
| 1 | 医療・保健に関わる組織の長の役割 | 講義・演習 | 1, 2       | 保健所長、医療機関の長、統括産業医等の業務の実際、臨床医との違い、多職種連携のあり方、本庁・関連機関との関係 |
| 2 | 組織マネジメント         | 講義・演習 | 1~6        | ビジョン、戦略、情報管理・活用、意思決定                                   |
| 3 | 事業マネジメント         | 講義・演習 | 1~6        | 行政・医療機関・企業・大学における原則とスキル、予算管理、人員配置、予算要求・組織定員要求          |
| 4 | コミュニケーション        | 講義・演習 | 1, 2       | 傾聴スキル、コーチング、プレゼンテーション、ネゴシエーション                         |
| 5 | リーダーシップ          | 講義・演習 | 1, 2       | リーダーシップの種類、自己分析  |
| 6 | 組織の人材確保・管理・育成    | 講義・演習 | 1, 2, 3, 4 | 人材確保、人事管理(配置、評価)、人材育成、ハラスメント防止、トラブルシューティング、倫理教育        |
| 7 | 情報管理             | 講義・演習 | 3, 4, 6    | ITを活用した医療情報、健康情報の管理スキル、情報管理の安全・倫理的側面                   |

基本プログラム

健康危機管理

|        |  |
|--------|--|
| 全体目標   | 感染症や自然災害、労災事故等の健康危機に対処する社会医学系医師としての実務的な役割を理解できる。               |
| 到達目標 1 | 所属する組織や地域の健康危機における組織の対応体制確立に必要な方法を、具体的に説明できる。                  |
| 到達目標 2 | 所属する組織や地域の健康危機発生時対応におけるリスクコミュニケーション手法を具体的に説明できる。               |
| 到達目標 3 | より実践的な健康危機管理体制を準備するために、所属する組織や地域において自らが今後果たすべき役割と方法を具体的に説明できる。 |
| 到達目標 4 | 所属する組織や地域における感染症危機管理に必要な基本的事項を説明できる。                           |
| 到達目標 5 | 人権に配慮した感染症危機対策の考え方を述べることができる。                                  |

※到達目標は、整備基準2-②-iの小項目

|   | 内容タイトル            | 講義・実習 | 対応する到達目標 | 主な内容  |
|---|-------------------|-------|----------|---|
| 1 | 健康危機管理概論          | 講義    | 1        | 健康危機の種類、平時・有事・事後対応、法制度、保健医療部門の役割                  |
| 2 | 大規模災害             | 講義    | 1, 3     | 震災、火山噴火、水害  |
| 3 | 感染症               | 講義    | 1, 4, 5  | 新興・再興感染症(サーベイランスシステム、疫学調査、人権への配慮)                 |
| 4 | 食中毒               | 講義    | 1, 3     | 食中毒(サーベイランスシステム、疫学調査、人権への配慮)                      |
| 5 | 化学物質・放射線          | 講義    | 1, 3     | 地域・職域での対応、長期的健康影響、疫学調査                            |
| 6 | 地域・職域における健康危機管理体制 | 講義    | 1~5      | インシデントコマンドシステム、医療機関・保健所・地方衛生研究所の役割、DHEAT、災害弱者への配慮 |
| 7 | リスクコミュニケーション      | 講義・演習 | 2, 5     | 災害心理学、分類、マスコミ、コミュニケーションツール                        |

基本プログラム

環境・産業保健

|        |  |
|--------|--|
| 全体目標   | 環境が人の健康に与える影響についてその対策も含めて理解できる。職域での健康問題とその解決のための法律や施策、地域保健との連携について理解できる。 |
| 到達目標 1 | 環境保健に関する海外の動向、国の法律と政策、地方自治体での実施の実態について説明できる。                             |
| 到達目標 2 | 健康影響評価の概念・理論・方法を説明できる。   |
| 到達目標 3 | 環境や曝露に関する基準策定の手順や手法について説明できるとともに、その活用ができる。                               |
| 到達目標 4 | 産業保健関連の法律と基本的事項について説明できる。  |
| 到達目標 5 | 業種や企業規模に応じた産業保健の特徴を説明できる。  |
| 到達目標 6 | 産業医、産業保健師など産業保健の現場で働く専門職の役割を説明できる。                                       |
| 到達目標 7 | 地域保健と産業保健の連携のあり方について説明できる。   |

※到達目標は、整備基準2-②-iの小項目

|   | 内容タイトル               | 講義・実習 | 対応する到達目標   | 主な内容   |
|---|----------------------|-------|------------|--|
| 1 | 環境・産業保健概論1<br>(環境保健) | 講義    | 1, 2, 3    | リスク因子、リスクアセスメント、リスク管理、環境基準、健康影響評価、関連法規、自治体における環境管理体制、国際的な動向  |
| 2 | 環境・産業保健概論2<br>(産業保健) | 講義    | 4, 5, 6, 7 | 職域における健康被害とリスク因子、作業環境管理、作業管理、健康管理、関連法規、企業における管理体制、国際的な動向     |
| 3 | 水、大気、土壌等の環境管理        | 講義    | 1, 2, 3    | 水、大気、土壌、建築物・住居、食の安全  |
| 4 | 有害要因の労働衛生管理          | 講義    | 1, 2, 3    | 化学物質(石綿等の発がん物質や有機溶剤)、放射線(電離・非電離)の有害性と労働衛生三管理                 |
| 5 | 健康管理体制               | 講義    | 4, 5, 6, 7 | 健診、適正配置、職場復帰、健康増進、作業環境測定、職場巡視、安全衛生委員会、産業医・産業保健スタッフの役割、地域との連携 |
| 6 | 産業精神保健               | 講義    | 4, 5, 6, 7 | メンタルヘルス(評価、復職支援)   |
| 7 | 労働災害                 | 演習    | 4, 5       | 災害性疾病、職業性疾病(職業病)、作業関連疾患、過労死、メンタルヘルス                          |